

# マクロ機能 仕様書

AW-RP200

2026/2/13

Panasonic

日付	変更ページ	変更内容
2026/2/13	-	初版作成

## MACROファイル

拡張子は.mc2

本文はjson形式で記述

以降、マクロをユーザー自身でファイル編集される際に参照してください

## データ仕様

項目	名称	データ型	説明	入力要件
header	ヘッダー	文字列	機種品番とマクロのバージョン	"RP200,Ver.01"固定
macros	マクロ	配列	各マクロの詳細を記述	最大100個の配列
	macro_no	INT	マクロ番号を指定	1~100
	interval_unit	文字列	intervalの単位を選択	"s", "ms"から指定
	commands	配列	各ステップの詳細を記述	最大500ステップ
	camera_no	INT	コマンドを送信する対象を選択。 0の場合はリモコンで選択中のカメラに対して送信する。	0~200
	command	文字列	送信するコマンドを記述。 特殊処理を行う場合もここで指定する。*1	<div>・ 32文字以下の文字列</div> <div>・ コマンドは各機種のIPインターフェース仕様書*2参照。</div> <div>・ 仕様書の「Command」列記載のフォーマットで記述 (例) Recall Preset Memory (PMEM No.=1)を記載の時"#R00"</div> <div>※Webメニューの[Macro Edit]の[Other Commands]も同様の記述方法</div> <div><div><div>Cam</div><div>1</div><div>▼</div><div>Command</div><div>Other Commands</div><div>▼</div><div>Param1</div><div></div><div>Param2</div><div></div></div><div><div>Interval</div><div>0</div><div>(s)</div><div>Other</div><div>#R00</div></div></div>
	interval	INT	次のコマンドを送信するまでの時間を指定	0~36000 同じカメラに連続してコマンドを送信する場合はカメラの受信間隔の制約参照。

\*1 詳細については次章で説明する

\*2 <https://eww.pass.panasonic.co.jp/pro-av/support/content/guide/JP/top.html>

## 特殊処理

項目	説明	入力要件
WAIT_USER_TRIGGER	事前に時間を設定せず、任意のタイミングで次のステップを実行できる。 本体LCDにポップアップが表示され"Exec"ボタンを押すと次の制御が実行される。	"WAIT_USER_TRIGGER"固定
RECALL_MACRO	他のマクロを呼び出すことができる。 RECALL_MACRO以降のSTEPは実行されない。	"RECALL_MACRO:XXX" XXXは呼び出すマクロ番号

# サンプル

本機のマクロファイルフォーマットは2種類あります。

(1) 単一のマクロのみを記載したとき

本体へ登録するとき、以下の例では、指定したマクロ番号に記載内容が上書きされます。本体への登録方法については次章を参照してください。

```
{
  "header" : "RP200,Ver.01",
  "macros": [
    {
      "macro_no": 1, "interval_unit": "s", "commands": [
        { "camera_no": 1, "command": "#P30", "interval": 3 },
        { "camera_no": 1, "command": "#P50", "interval": 1 },
        { "camera_no": 1, "command": "#T70", "interval": 3 },
        { "camera_no": 1, "command": "#T50", "interval": 1 },
        { "camera_no": 1, "command": "#APC80008000", "interval": 0 }
      ]
    }
  ]
}
```

(2) 複数のマクロを記載したとき

本体へ登録するとき、以下の例では、MACRO1,2が上書き、MACRO10が削除され、それ以外は更新されません。本体への登録方法については次章を参照してください。

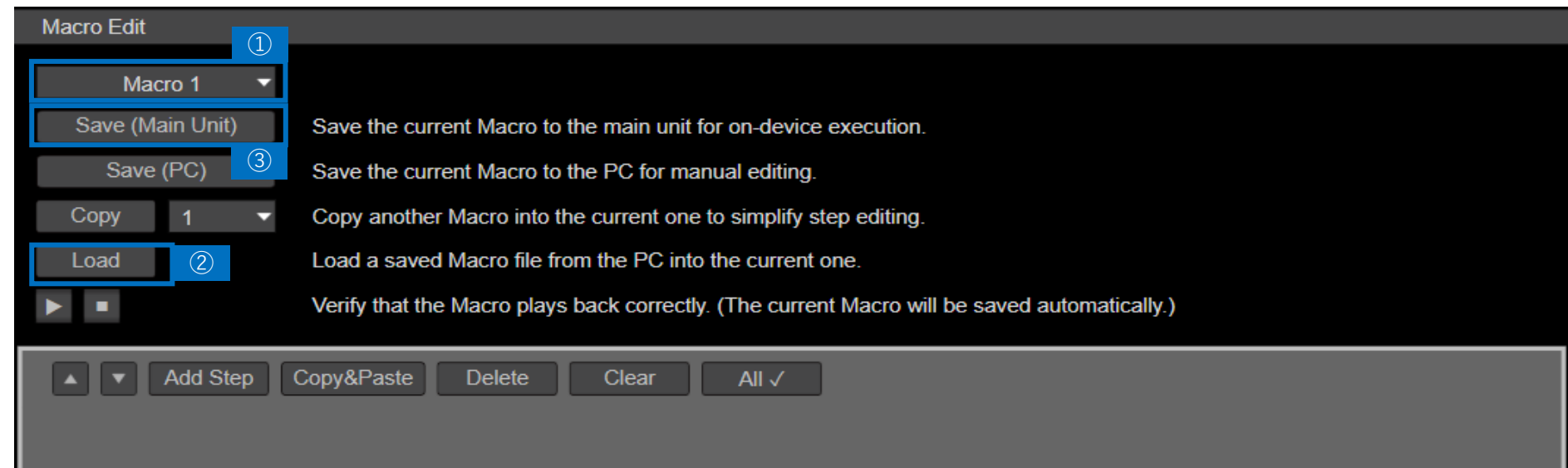
```
{
  "header" : "RP200,Ver.01",
  "macros": [
    {
      "macro_no": 1, "interval_unit": "s", "commands": [
        { "camera_no": 1, "command": "#P30", "interval": 3 },
        { "camera_no": 1, "command": "#P50", "interval": 1 },
        { "camera_no": 1, "command": "#T70", "interval": 3 },
        { "camera_no": 1, "command": "#T50", "interval": 1 },
        { "camera_no": 1, "command": "#APC80008000", "interval": 0 }
      ]
    },
    {
      "macro_no": 2, "interval_unit": "ms", "commands": [
        { "camera_no": 2, "command": "WAIT_USER_TRIGGER", "interval": 0 },
        { "camera_no": 2, "command": "#R00", "interval": 2000 },
        { "camera_no": 2, "command": "RECALL_MACRO:003", "interval": 0 }
      ]
    },
    {
      "macro_no": 10, "interval_unit": "ms", "commands": [
      ]
    }
  ]
}
```

## 本体への登録

サンプル(1)・(2)のフォーマットで本体への登録方法が異なります。

(1)のとき

Webメニューの[Macro Edit]より、登録したいマクロ番号（①）を選択後、[Load]（②）より該当マクロファイルをロードしたうえで、[Save (Main Unit)]（③）を選択してください。①のマクロ番号に上書き登録されます。



(2)のとき

Webメニューの[RP Backup]より、[Config Data Type]を[MACRO]に設定後（①）、該当マクロファイルを[Config Data]（②）で選択し、[Upload]（③）を実行してください。マクロファイルに記述されているすべてのマクロデータが上書き登録されます。

